

平成 24 年 11 月 9 日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 酒井睦夫 様

議会報告会 2 班  
班長 海老原 功一  
齊藤 真理  
楠山 栄子  
酒井 睦夫  
山崎 専司  
乾 紳一郎  
伊藤 實

私の班は議会報告会を開催し、その概要は下記のとおりでしたので、ご報告します。

記

- 1 日時 平成 24 年 11 月 4 日 (日)  
午前 9 時 30 分～午前 11 時 30 分
- 2 場所 東部公民館
- 3 欠席議員 なし
- 4 参加者数 11 人
- 5 報告内容  
[前半] 共通テーマ  
平成 23 年度決算報告  
[後半] 各班独自テーマ

## 防災について

### 6 意見交換内容

述べ6人の方から、質問とご意見が出されました。出された質問・意見は以下の通りです。

○ 市税に占める人件費の割合がH19年度から小さくなっているが、三位一体改革による税源移譲により、国税と地方税の割合が変わった、システムが変わったからで、経営努力の結果とは言えない。数字のマジックではないのか。

国は国家公務員の給与を2年間暫定的に減らしたが、これについて議員はどう考えておられるのか。流山市も是正すべきと思うがどうか。

経常収支比率がH22年度から良くなっているがどういう理由か。また、一方で、財政力指数が逆に悪化しているのは何故か。

コメント：

① ご指摘の通り、国税が減って地方税が増えたため「市税が増えた」形になっています。人件費の割合が小さくなったのは経営努力の結果ではありません。(但し、周辺他市よりは良い)

② 人件費削減については議員間でも意見が分かれ、「議会としての統一見解」はありません。

毎年職員・議員の給与・報酬は削減していますが、2%程度です。「市民の納得の得られる給与水準」であることが前提と認識しています。

③ 経常収支比率が下がった理由は臨時財政対策債と地方交付税の増加によるものです。

(注：経常収支比率＝人件費、扶助費、過去の借金の返済など「義務的経費」を経常的収入で割った数値。近年用途自由の「臨時財政対策債」を増やす傾向にある)

○ ごみゼロ作戦の日なので、ごみゼロに出ている市民は参加できない。なぜこのような日程を設定したのか。

つくばエクスプレス沿線のおおたかの森の開発はH26年で終了と閣議決定されている。開発からURが撤退したら、市と国と県の負担はどう変わるのか。重大な問題である。

産業として何を起こすのか、流山市には見通しが無い。子どもたちがこの地で就職できるのか。どうするのか。

コメント：

① ゴミゼロの日に設定したことは大失敗であり、弁解の余地がありません。以後気をつけます。

② ニュータウン開発からURがH25年に撤退することは政府の方針であり、撤退期限が過ぎれば、多額の赤字をかかえるニュータウン開発にこれまでのように政府資金を投入することは難しくなると考えます。事業の継続が図られるよう当局は働きかけていますが、その動向次第では、流山市の負担が増えることとなりますので、注視する必要があります。

○ 地域防災計画の決定版はまだ、HPにアップされていないと思うがどうか。

駒木台・青田は柏市に囲まれている。近くに県の柏の葉公園もあるので、そこに避難したいが、このような場合、他市にある県や国、大学など民間の事業者と避難所指定の協定を結んでいるのか。

駒木台では、近くコミュニティプラントが廃止されるので、そこに避難所をつくったらと考えているが、市の窓口はどこか。議員に紹介してもらって行ってくれた方が効果があるのか。

コメント：

① 防災計画は最終的には自治会単位、小学校区単位など小規模で進められます。一部先進的な地区では取り組んでいます。

② 避難所として県の施設や大学の施設、隣接市の施設を使うことは前提であり、相互協力の約束は出来ています。

- ③ 駒木台コミプラ跡地の利用については、2年以上先ということもあり、現在は白紙です。利用方法でいい提案があれば自治会長経由でコミュニテイ課に相談されるのがいいと思います。

○ 人数が少ないことにビックリした。PR不足である。市広報には掲載されたが、会場である公民館にパンフレットは置いていないし、公民館の管理者に聞いても知らなかった。日にちの設定も問題。全市的にごみゼロ運動があり、自治会ではこれからの煮会も予定している。日にちの設定とPRをしっかりとやらしてもらいたい。

防災ということでは、「安全と安心」と言われるけど、私たちが何よりも「安全」を求めている。

コメント：

- ① 消防法の関係で定員を超えて入場できない、と強く要請されたため、たくさん参加されることが心配で、PRが不十分だったことも理由の一つです。

次回は大きな場所で大勢のご参加を実現します。

- ② 防災は議会の最重要テーマであり、今後も力を入れて取り組みます。

○ 夕張や泉佐野市のような事態に流山がなるとは思わないが、市の財政がデフォルト（破たん）しないようにするのは、どこを基準として重視しなければならないのか。

コメント：

「泉佐野市は、大阪湾りんくうタウン開発の破たんに大きく影響されています。流山市においても、つくばエクスプレス沿線で大規模な開発がおこなわれ、今、小中併設校と総合体育館建設をあわせて160億円の大型事業に取り掛かろうとしています。これらの事業で財政がどうなるのか、市民生活はどうなるのかを議会が厳しくチェックしていく必要があります

○ 千葉県が新たに発表したハザードマップでは、総合運動公園

のところをもっとも揺れやすい場所とされている。そこに新しい体育館をつくり、避難所にもなっているが大丈夫なのか。

流山市内の土砂災害危険箇所は15か所あるが、対策は何もない。住民の危険のない、遠く離れたところでお金をかける必要はない。

新設の小中併設校に118億円かけるというが、東小学校の老朽化し、水漏れするプールの改修もしないで、併設校に118億かけるのはおかしい。普通の学校をたてるのはいい。普通の学校が20億でたつものを5倍118億とは納得できない。

コメント

① 地域防災計画は、地域単位で検討を進める。自治会内で防災計画を進め、危機管理課を窓口相談されたい。

② 小中併設校や市民体育館の建替えプロジェクトについては、財政を圧迫する内容となっています。議会としては財政面をはじめ、あらゆるチェックを行います。

市民は10人程度集まれば「出前講座」を要求出来ます。

回答は、司会者を含めた4名の議員がおこない、質問者との間で、数回の質問のやり取りがありました。

## 7 参加者から議会への要望

○ 議会報告会の日には設定を、ごみゼロ運動など市の行事と重ならないようにし、参加しやすいようにするべき。PRが不足しているので、会場となる公民館にパンフレットを置くなどPRを強化してほしい。

## 8 所感

参加が少なかったことが残念だが、意見交換のテーマに沿った質問や意見が出された。会場が狭いのとスクリーンが大きく場所をとったために、正面に座っていた議員だけで質問に対応していて、2班の議員みんなが発言

することができなかった。これまで6回の議会報告会が行われてきたが、初めての参加者が広がっているのかという点では、広がりはないように感じられる。今後、改善の議論をおこなうべきではないかと思う。